



石田 哲 議員

焼却施設の 新規建設候補地 選定の行方は

問 焼却施設新規建設候補地
選定の行方は。

答 議会での議論を踏まえ、検討を進めて
まいります。

問 2度に渡り宮前坊地先の建設に反対し否決となった。一方議会構成が変われば、再び提案されるのではとの不信感が市長の発言から読みとれる。時系列的に分析しその不安を打ち消し、早急に次の段取りに移るべきと思う。

答 環境部長
白紙とした当該宮前坊地先の用地を再度提案するという選択肢は、あり得ないと明言しています。

問 浸水警戒区域指定に對しいつまで現状を放置しておくのか。霞堤の嵩上は危険度が増す。市の要望事項の実現性は。

答 環境部長
県からは霞堤の機能や嵩上げの効果を検証した上で地元へ説明する旨の回答がありました。

問 次の建設予定地の選定方針についてどのように進めるか。

答 環境部長
これまでの議会での議論を踏まえ、建設用地の条件整理のための基礎資料の収集、国土の計画変更に関する協議、財政計画の検討を進めてまいります。

問 宮前坊地区の総会で白紙について述べた市長発言の真意について確認する。

答 環境部長
これまでからご検討いただきました区民の皆さま方のご苦勞や、ごみ処理行政へのご理解ご協力に対する敬意とお礼としてお詫びを込めての発言であったと思われます。建設予定地としてこれまで検討してきた宮前坊地先での建設の考えはありません。

ついて「もやもや感」が深まる。発言趣旨は。

答 環境部長
これまでからご検討いただきました区民の皆さま方のご苦勞や、ごみ処理行政へのご理解ご協力に対する敬意とお礼としてお詫びを込めての発言であったと思われます。建設予定地としてこれまで検討してきた宮前坊地先での建設の考えはありません。

その他の質問

○個人情報保護に関する遵守事項について